



担当した検出器の読み出し電子回路



授与された感謝状

「SACLA」供用開始と感謝状授与

播磨科学公園都市にある独立行政法人理化学研究所様のX線自由電子レーザー(XFEL)施設(愛称「SACLA(さくら)」)が、いよいよこの3月より本格供用開始となります。供用に先がけ、2月6日(月)には完成式典が開かれ、当社からは上澤社長、柴田取締役が出席致しました。

このXFELでは、基幹検出器としてMPCCD(Multi-port CCD)検出器が用いられ、検出器の読み出し電子回路の開発・製造を明星電気が担当しています。

http://www.meisei.co.jp/news/2011/0419_586.html

式典に際しては、当社への功勞に対して感謝状が授与されました。

明星電気のX線を用いた計測技術は宇宙だけでなく、こうした研究分野でも広く活躍しております。

(当社営業担当:官公ソリューション営業部 市川哲也)

ガイドラインに掲載している
QCAST@受信ユニットS740

緊急地震速報対応機器、QCAST@シリーズ 気象庁様ガイドライン対応状況を掲載しました！

気象庁様では、緊急地震速報の受信端末の利用者が本来の利用目的に即して適切に利用できるよう、受信端末や配信方法を選択する際や、緊急地震速報を利用する際の参考となる事項について、緊急地震速報を適切に利用するために必要な受信端末の機能及び配信能力に関するガイドラインを取りまとめました。

http://www.jma.go.jp/jma/press/1104/22c/eww_guideline.html

これは、受信端末利用者が本来の目的に即して緊急地震速報を利用するための推奨事項をまとめたものです。明星電気では、緊急地震速報の受信端末を利用されている方やこれから導入される方に対し、端末の機能や配信能力について本ガイドラインに沿って、公開・説明しています。詳しくは、緊急地震速報対応QCAST@シリーズ・気象庁様ガイドラインの対応状況をご覧ください。

http://www.meisei.co.jp/news/2012/pdf/20120118_meisei_qcast_guideline_siryou.pdf

(当社営業担当:新市場開拓グループ 中里清行)



明星電気ブースでのデモンストレーションの様子

横浜市で開催された震災対策技術展で QCAST@と計測震度計を出展しました。

2月2、3日、横浜市の「パシフィコ横浜」において第16回震災対策技術展が開催されました。

明星電気のブースでは、緊急地震速報対応QCAST@シリーズ受信装置、QCAST@受信ユニット、計測震度計の動作デモンストレーションと説明を行い、被災時の事業継続ツールのシステムとしてたくさんの見学者の関心を集めました。また、当社販売店である南海電設様のブースでも、同様にQCAST@シリーズの展示とデモンストレーションを実施していただいております。今後の防災意識や当社製品の社会への普及が期待されます。明星電気はこうした展示会への積極的な参加を通じ、当社の自信作である緊急地震速報QCAST@シリーズをPRし、お客様へその導入を提案していきます。

(当社営業担当:新市場開拓グループ 練木道夫)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、~人と社会の豊かな環境づくりに貢献する~を

テーマに水中から宇宙までをカバーする世界のトータルソリューションプロバイダーを目指します。